

2008年5月9日

2008年度京王グループ経営計画

京王電鉄株式会社

【2008年度基本方針】

「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を目指し、
「鉄道事業の安全性の向上」と「沿線価値向上策への取組み」に
注力してまいります。

京王グループでは、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を目指し、グループ全社をあげて取り組んでおります。

その実現に向け、2008年度は、「鉄道事業における安全性と利便性向上策の継続」と、「沿線価値向上策への取組み」を大きな柱として、引き続き取り組んでまいります。

これらにより、2008年度の連結設備投資額は857億円を計画しております。また、鉄道事業における「安全の確保」を最重要課題と位置付けており、鉄道事業への投資額は549億円（対前年20%増）、特に安全性の向上には433億円（対前年14%増）を投資してまいります。

【2008年度重点施策】

1. 鉄道事業における安全性と利便性向上策の継続

(1) 積極的な安全への取組み

① 運輸安全マネジメントの推進

- ・ 「責任事故ゼロ」の実現に向けて、安全確保に関するPDCAサイクルを機能させ、事故の未然防止策を講じるなど、引き続き運輸安全マネジメントを推進します
- ・ 安全確保等に関する社員の資質を維持向上するため、実際の現場と同様の設備を備えた鉄道教習所を活用した教育を実施します

② 立体交差化の推進

- ・ 調布駅付近連続立体交差事業の2012年度の完成を目指し、駅部の掘削工事を引き続き進めるとともに、シールドマシン（トンネル掘削機）によるトンネル掘進を開始します

- ・ 笹塚以西の鉄道立体化については、代田橋駅～八幡山駅付近連続立体交差事業の認可・着手に向け、事業主体である東京都とともに都市計画変更手続きや環境影響評価のための調査設計を行います

③鉄道技術基準適合策の推進

- ・ 信号システムのATC^{*}化の2010年度の完成を目指し、相模原線における地上設備の設置を完了するとともに、引き続き車両の改造等を進めます

※自動列車制御装置（ATC）

車両に搭載しているコンピューターが曲線など線路状況に見合った適切な速度に列車を制御します

④駅施設・高架橋などの災害対策

- ・ 京王線新宿駅における排煙設備や、幡ヶ谷駅における緊急避難通路を完成させ、地下駅火災対策を完了します
- ・ 構造物の耐震性向上策を推進するため、吉祥寺駅高架橋の改築について既設構造物撤去のための線路仮受けを実施します

⑤車両の新造

- ・ 老朽化した車両の代替として、京王線9000系車両60両、井の頭線1000系車両25両を新造します

(2) サービス・利便性の向上（バリアフリー化の推進等）

- ・ バリアフリー設備や自由通路、商業スペースを備えた桜上水駅の橋上駅舎化を完了します
- ・ 百草園駅・永福町駅などで橋上駅舎化工事に着手します
- ・ 京王片倉駅・山田駅・高尾駅にエレベーターを設置します
- ・ 目の不自由なお客様に駅施設の配置などをお知らせする音声・音響案内設備を順次設置します
- ・ 車両の新造・改造により、フルカラー液晶画面等を用いた車内案内表示器やドアの開閉をお知らせするチャイムを備えた車両を137両増備します
- ・ 幡ヶ谷駅の冷房設備の設置を完了します

○エレベーター等の設置による段差解消について、原則として2010年度の全69駅完了を目指しており、2008年度末には整備率80%、1日平均乗降人員5,000人以上の65駅に対する整備率は78%となる予定です

○車両のバリアフリー化について、2010年度の全車両完了を目指しており、2008年度末には、在籍車両に対する整備率は80%となる予定です

(3) 環境対策（省エネルギー化の推進）

- ・ 車両の新造・改造により、エネルギー効率の良いVVVFインバータ制御器※を搭載する車両を117両増備します

※VVVFインバータ制御器

架線に流れる直流を交流に変換し、列車の加速力や速度に応じて電圧や周波数を変化させながら交流モーターを動かす装置です

○車両のVVVFインバータ化について、2010年度の全車両完了を目指しており、2008年度末には在籍車両に対する整備率は78%となる予定です

2. 沿線価値向上策への取組み

(1) 沿線活性化策の推進

①核拠点開発に向けた取組み

- ・ 京王吉祥寺駅ビルの2010年度の建替え工事着手に向け、新ビルの基本設計および施工計画を策定します
- ・ 聖蹟桜ヶ丘地区では、商業施設開発を推進するとともに、これと連動した高架下活用計画や未利用地の店舗化計画を策定し、街全体の活性化を図ります
- ・ 新宿地区、笹塚地区などの沿線拠点において、将来構想の検討を進めます

②開発メニューの開拓・展開

- ・ 多摩エリアにおける「学生マンション事業」に着手するとともに、府中以東における「企業向け独身寮事業」の検討を進めます。また、フードテーマパーク事業を検討します
- ・ 「移住・住みかえ支援機構（JTI）」を活用した取組みを継続します
- ・ 京王小滝橋マンション、Hi-Rooms明大前・神泉など住居系賃貸物件の供給を進めます

③新規ビジネスプランの実行

- ・ 中食事業、シニアレジデンス事業について、事業化を検討し、沿線での展開を目指します

④生活サポートサービスの展開

- ・ 新たに事業化した家事代行「ホームほっとサービス」の展開や、住まいのメンテナンス事業のサービス提供エリア拡大などにより、沿線での生活利便性向上に寄与します
- ・ 潜在的な顧客ニーズにワンストップで対応する仕組みを構築し、グループのビジネスチャンス拡大につなげます

⑤子育て支援事業の推進

- ・ 今春開園した「京王キッズプラッツ」多摩川および高幡では、安心・快適な子育て環境を整備します
- ・ 世田谷区から運営を受託した「子育てステーション烏山」において、2008年9月から「京王キッズプラッツ烏山」を開設するとともに、沿線における保育所設置等について自治体と協議を進めます

⑥沿線コミュニティサイト「街はぴ」の充実

- ・ コンテンツの充実により沿線の魅力的な情報を発信します

(2) グループ事業競争力の強化

①生活関連事業の強化

- ・ 食品スーパー業の拡充を中心に強化を図るほか、駅周辺事業の収益力向上を目指し、駅スペースの有効活用など各種施策を検討します

②沿線内外における事業の拡大

- ・ 京王電鉄バスグループでは、安全運行の質的向上や路線移管による効率化を進める一方、新規路線開拓などにより顧客増を図ります
- ・ 京王百貨店では、新商品情報・顧客情報システムの活用による全社CRM推進体制を確立し、効果的な販促やサービスを提供することで、顧客満足度を高めます
- ・ 京王プラザホテル(新宿)では、コンコードボールルーム改装工事を実施し、機能性・商品力を高めます
- ・ 京王プレッソインでは、5月に五反田店を開業させるとともに、来春開業予定の池袋店、来夏開業予定の九段下店(8号店)の開業準備を進めます。また、チェーン拡大に向け新規店舗を開拓します
- ・ 京王書籍販売(啓文堂書店)、京王食品(ベーカリールパ)などでは、沿線内外で新規出店を進めます

③グループカード戦略の展開

- ・ 「電子マネー」サービスについて、駅売店A L o TやカレーショップC&C、沿線商店街などグループ内外への拡大を推進します
- ・ 「京王グループ共通ポイントサービス」について、ポイント制度の見直し・システム改修を実施します

3. 経営体制を支える基盤整備

(1) 財務報告に係る内部統制の有効性評価への対応

- ・ 適切な整備・運用状況の評価を行うとともに、継続して運用できる体制を整備します

(2) 人材の確保と育成

- ・ グループ合同就職説明会の開催や、グループ独身寮の建設、社宅の再編成を実施するなど、人材確保に努めます
- ・ 研修カリキュラムの充実、実施を進め優れた実務能力を備えた人材を育成します

(3) グループIT環境・体制の整備

- ・ 情報セキュリティや災害対策等のITに関するリスク対策を強化します
- ・ グループIT環境構築の検討を推進します

(4) 企業の社会的責任への取組み

- ・ 首都直下地震や新型インフルエンザ等の発生を想定した事業継続計画（BCP）を策定します
- ・ グループの運輸業各社において、「運輸安全マネジメント」を着実に実施します

【 連結利益計画 】

(単位：億円)

	2007年度実績	2008年度計画
連結営業収益	4,291	4,280
連結当期純利益	181	162
連結EBITDA	723	671

【 連結設備投資額（セグメント別） 】

(単位：億円)

	2007年度実績	2008年度計画
運輸業	500	605
流通業	34	53
不動産業	71	131
レジャー・サービス業	49	66
その他	10	6
(連結修正)	△8	△7
合 計	657	857

【 鉄道事業投資額 】

(単位：億円)

	2007年度実績	2008年度計画
安全性向上	380	433
サービス向上	66	100
環境対策・その他	11	15
合 計	458	549